

〈さあおけさ〉

1

○ ○ \* ちゃんは「佐渡おけさ」のおどりをおどれるかな？

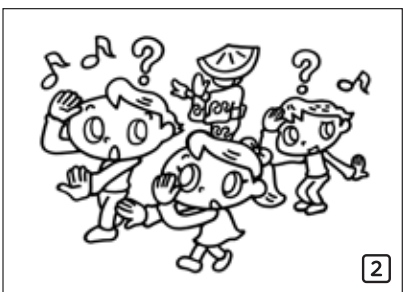
佐渡でほんおどりを楽しむために、

みんなにおほえてほしいおどりを。

ちよつとむずかしいかもしれないけれど、

じぢぢぢずにおどれるように、かんぽつてねんじゆしてね。ね。

\* おはまや、おともだちのなまえをいれてね。





〈やまおこく〉

2

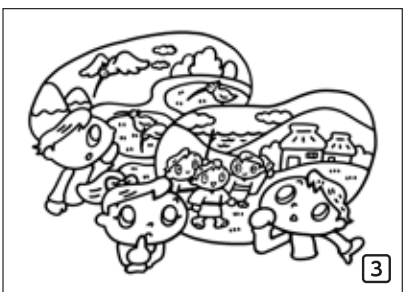
「佐渡おけさ」は、佐渡で生まれた民謡です。

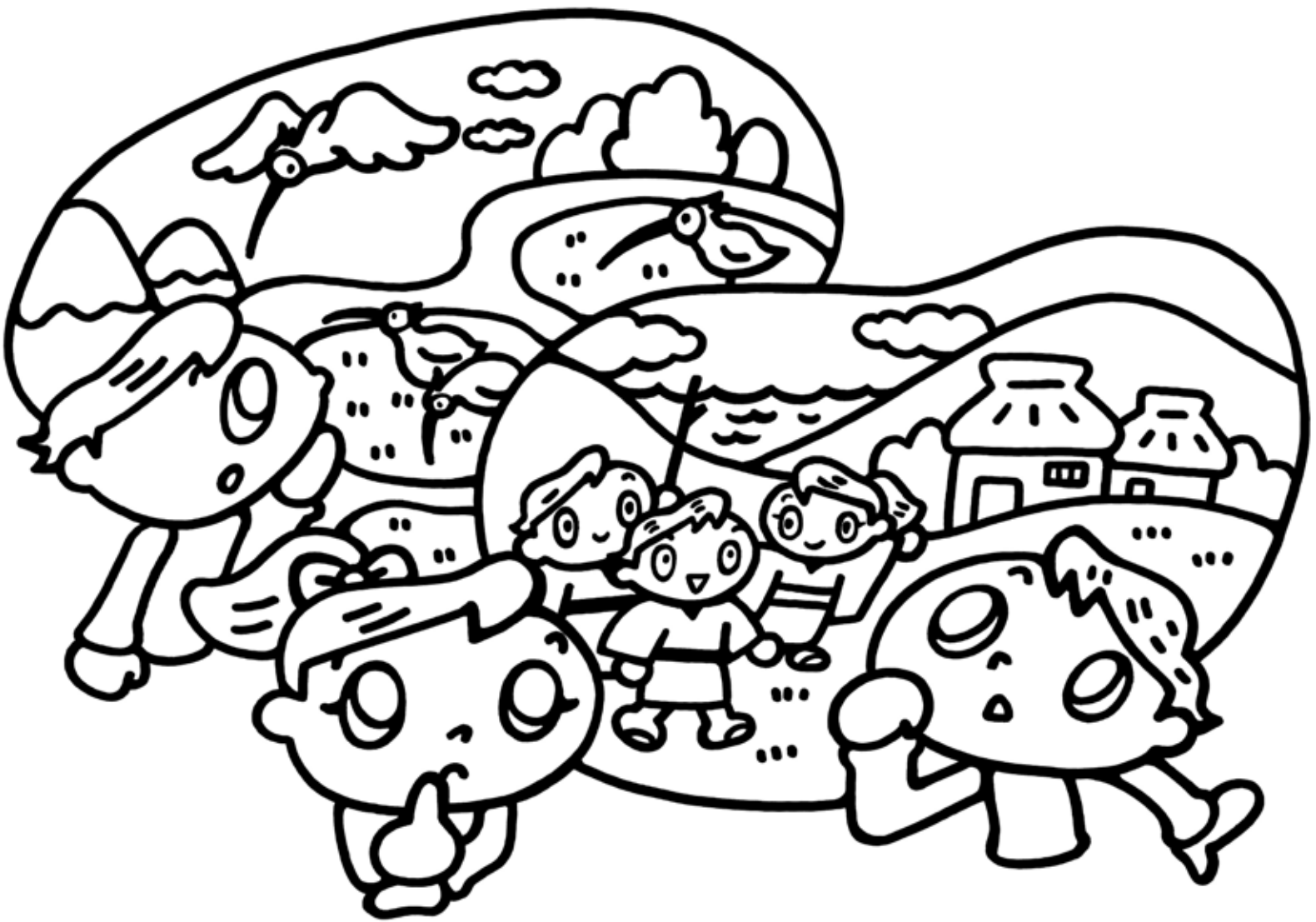
ずーっとむかしから、

佐渡の人たちが歌い、おどって、

長い間、たいせつに守ってきたんだって。

すごいよね。





〈やまおこく〉

佐渡は、海に囲まれた島。

むかしむかし、海をわたる大きな船で

よそのまちからやってきた船乗りたちや、

金山ではたらく人たちで、佐渡はとつてもにぎわいました。

たくさんの人たちが楽しみながら口ずさんでいた歌が、

人から人へだんだんと広まり、「佐渡おけさ」となりました。





くまおこく

「佐渡おけさ」は、こんなことを歌った歌なんだって。

「海の向こうの佐渡は、とてもいいところ。」

だから草や木もみんな佐渡のほうを向いているよ」

「佐渡は、夏でも冬でも楽しいよ」

「船にのって来てみてね。佐渡はとてもすてきな島なんだよ」





くちまおこく

やがて、この歌におどりがついて、  
もっともっとたくさんの人に「佐渡おけさ」が  
知られるようになりました。  
音楽に合わせて、きれいに手足を動かして、  
とても楽しそうにおどります。





〈やまおこく〉

こうして、人々に親しまれてきた「佐渡おけさ」は、  
佐渡だけでなく、

日本じゅうに知られる民謡になったのです。

今も、ほんおどりや、うんどう会でおどっているよね。

♪アリアサ、アリアサ、アリアサ、アリアサアリアサアリアサ〜





くまおこく

昔むかしの人ひとたちが守まもって、

今いまにつたえてくれた「佐渡さどおけさ」は、

佐渡さどのたからもの。

みんなもいっしょに歌うたって、べいびい、

これからもずっとずっとたいせつにしていこうね---





〈夏のお祭り〉

『みんなでおどろろー！さどおけさ！』

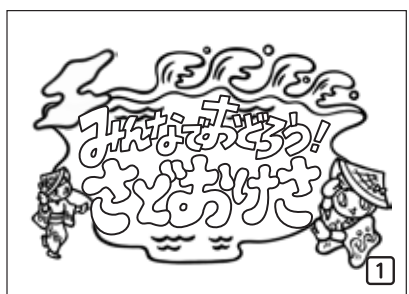
ことしも、楽しい夏が近づいてきました。

夏といえば、

お盆にたくさんの方が集まっておどる「ぼんおどり」。

佐渡のぼんおどりにかかせないおどりって？

そう、みんながよく知っている「佐渡おけさ」です。





佐渡ものがたりシリーズ②

# みんなでおどろろ! さどおけさ

ぬりえみほん

クレヨンや色鉛筆でぬったり、  
貼り絵などで自由にぬりえを楽しんでね!

